

さいわい 虹 便り

No.64

<http://www.sekishinkai.or.jp/saiwai-zaitaku.html>

発行者 武田貴子 宮本祥代 深井純子 吉田唯之 齊藤淳子



「手を動かすことが大好き。それと頭の運動も兼ねてね。」とおっしゃられ、時間があれば手芸や絵を描くことを楽しんでいます。週二回のデイサービス、週一回は必ず仲の良いお友達とランチ。他の日は娘様がお家に来られてお話を楽しめたりと、なかなかパワフルな一週間を過ごされています。その合間をぬって、さまざまなお品物を作成中です。「目は疲れるけど冬は編み物をしていいることが多いわね。近所のお友達や故郷山形の親戚にプレゼントしているのよ」と取材の日も編み物をされていました。暖かそうなセーターやマフラー・帽子などプレゼントされたら嬉しいものばかり。この冬は寒いので特に



お写真で着ておられるチュニック風ベストと膝掛けも新江さんのお手製。ひざ掛けの色の組み合わせがとても可愛いです。

利用者さん紹介

こちらのチュニックは娘さんへのプレゼントです。毛糸は娘さんが買って来てくださるそうです。

帽子が喜ばれ、今シーズン既に十個も編まれたそうです。編み柄がともおしゃれで複雑なものばかり。どのよう編まれていいるのかお聞きしたところ、編み図を見せてください、更に驚きました！ご自分で編み図も作っておられたのです。最近では、お友達も編み物を始め「教えて」と声をかけられるとのことです。納得です。最後に新江様に編み物をされているときは、どんな事を考えながら編んでおられるのか？お聞きしたところ意外な答えが返ってききました。「俳句を作りながら」とのことです。「頭の運動を兼ねて」と初めにお話くださいました。が正にフル活動でこちらの頭が下がる思いでした。俳句は、また別の機会にご紹介させていただきます。お楽しみに。

その他の作品紹介します

絵手紙やくす玉もお部屋に飾られています。左上のシクラメンの葉の部分が大変苦労されたそうで、葉状までもがイキイキと描かれた作品です。



折り紙で立体的にお花を作り、組み合わせられています



マフラーと帽子
とても暖かそうで冬の必需品ですね

気づきシリーズ その3

高齢者の安心と尊厳を守りましょう

まわりに気がかりな高齢者はいませんか？



介護が必要なのに、サービスを利用している様子がない。



介護者の態度が否定的であったり、攻撃的である。



家の中から大声で怒鳴る声が聞こえる。



顔や腕などに不自然なあざが多くなった。



最近、顔色も悪く、やせてきた気がする。



問いかけに反応がない、無表情、おびえている。



年金などの金銭の管理ができていない。



暑い日、寒い日、雨の日なのに、長時間外にいる。



見慣れない人が家に入り出りするようになった。



最近姿を見かけない。

こういう事だったら、心あたりがある気がするな...



気になる高齢者がいたら迷わず相談してください。

出展：『高齢者のあんしんと尊厳を守りましょう！防ごう！高齢者虐待』

川崎市健康福祉局

発行

「シリーズ気づき」第三回は、『高齢者虐待』についてです。

高齢者虐待ってどんなこと？

平成一八年に「高齢者虐待防止法・養護者支援法（通報）」ができました。高齢者虐待とは、家族・親族などや施設の職員が、高齢者の尊厳（その人らしく生きること）を脅かす行為です。高齢者本人や虐待をしている人の自覚は問いません。

この法律では、

- 身体的虐待
 - ネグレクト（介護・世話の放棄、放任）
 - 心理的虐待
 - 性的虐待
 - 経済的虐待
- の5つの種類を挙げています。

暴力以外の虐待もあるんだなあ



どうして起るの？（要因は？）

- ◎高齢者の心身の状態（認知症など）
- ◎介護疲れ
- ◎高齢者と介護者の人間関係
- ◎介護者の心身の状態
- ◎介護の知識や情報不足
- ◎経済的問題
- ◎近隣からの孤立

さまざまなおことが複雑に絡み合って発生します！

認知症に関する正しい知識を身につけることは、高齢者虐待の予防につながりそう・・・

高齢者虐待防止法・養護者支援法は、高齢者虐待をしている人を罰する法律ではありません！

虐待は、どんな家庭にも起こりうることです。だから・・・



誰もがいつかは高齢者になります。地域の力で支え合うことが必要です。

- ◎高齢者や介護をしている家庭をやさしく見守る
 - ◎介護している家族にも支える気持ちをもつ
 - ◎声をかけるなどして地域から孤立させない
- これらが、高齢者にやさしい地域を作っていきます。

「気づき」が大切！

近所に住んでいる高齢者について、「あれっ？」「おかしい」「ちょっと心配」という小さな気づきがとても大切です。気になる高齢者がいたら、疑いの段階でも迷わず相談してください！ ※相談者の秘密は守られます。

★相談先：各区役所 高齢・障害課
地域包括支援センター

消防訓練（第二弾）をおこないました

昨年の十二月四日と二十四日に消防訓練をおこないました。今年度第二弾の今回は、火災発生時における通報と避難の手順について職員みなで確認をしました。

はじめに、前回（四月実施）の復習として消火器の設置場所と本数を確認しました。「全部で何本あった?」「あと一本はどこ?」との声がちらほら聞こえ、繰り返し確認することの大切さを感じました。

火災発生時に慌てずに消防署へ通報できるよう、ビルの住所、階数、火災の状況や通報者の氏名を忘れずに伝えることを確認しました。

避難経路も改めて確認しました。私たちの事務所は六階にあるため、火災発生時は階段を使って避難することになります。他のテナントも入居しているため、煙の被害に遭わずに迅速に屋外へ逃げるにはどのルートが一番良いか、おのおの真剣な表情で考えていました。

火事を起こさないように用心するとともに、万が一のときにも慌てずに自らの身を守るよう、繰り返し訓練をして身につけていきたいと思います。



～訓練当日の様子～



みんな真剣に耳を傾けています。



消防設備の確認も同時におこないました。

編集後記

ようやくインフルエンザの流行が収束してきたかと思っ
たら、あっという間に花粉症の時期に突入しそうです。まだ
しばらくはマスクが手放せそうにありませんね。

編集者

森由貴 渡邊文祐 野本京子 齊藤久美子
大塚佳美 清崎由美子

